

## 2021年第3回ABAC会議ニュースリリース【仮訳】

2021年8月3日

### 【アジア太平洋地域のビジネス界代表の声】 共通の課題には共通の解決策が必要～今すぐ行動すべき

APEC 各国・地域の首脳が最近表明したとおり、複雑でグローバルな課題に対し一貫したタイムリーな解決策を見出すために「共に取り組む」ことが、APEC 地域が繁栄し続ける唯一の方法であると、APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC: APEC Business Advisory Council) は本日、今年3回目となるバーチャル会合で宣言した。

2021年のABAC議長を務めるレイチェル・タウレレイ氏は、ABACは本日の会合で今年のAPEC首脳への書簡と提言を取りまとめたと言った。

「APEC 首脳に対するわれわれのキーメッセージは、豊かで平和で強靱な未来は域内の総力によってのみ達成されるということである。われわれが直面する課題は深遠ではあるが、それらは共有されている。パンデミックは喫緊の課題ではあるが、われわれはまた、気候変動や鈍化する経済成長、デジタル・ディスラプション（デジタルによる破壊）にも対処していかななくてはならない。単独で内向きになることは、深く相互に接続された世界では正しい戦略とはいえない」とタウレレイ氏は述べた。

ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン首相が開会挨拶を行った。「われわれの考えの一部を直接アーダーン首相と共有する機会を持てたことは光栄であり、首相がAPEC史上初の非公式首脳会合で議長を務めたことを祝福することができた」とタウレレイ氏は述べた。

「ABACと共通の考え方がかなりあることは明らかであり、11月のAPEC首脳との対話を楽しみにしている。」

レイチェル・タウレレイ氏は、この地域が直面している多くの複雑な問題を反映し、ABACが広範な提言を行ったと説明した。

「パンデミックへの多国間による対応が最も重要な優先事項である。新型コロナウイルス感染症を封じ込めるためには、ワクチン、不可欠な医療用品とサービスの貿易の開放を通じて、より早く、より公平で全世界的なワクチン接種を行うことが必要である。ワクチンは安全でシームレスな国境再開の鍵であり、経済回復にもつながっていく。APECはこのための一貫した地域の枠組みを構築する必要がある」とタウレレイ氏は語った。

タウレレイ氏は、2021年ABACのテーマである「人、場所、繁栄」を振り返った。これら

の優先事項をいかに統合し拡充するか、全般的な見解が ABAC の提言に含まれている。

「人の幸福はわれわれが行うことすべての中心にいなければならず、われわれは中小企業、女性、先住民コミュニティに力を与えるため、能力の習得や構造改革を提言している。われわれはまた、デジタル的に強化され、貿易がしやすいフード・システムを求めている。人々の十分な栄養摂取を保証することが他のあらゆる目的を達成するための基本である。」

「場所に関していえば、持続可能性が APEC の経済活動のすべてを支え推進することにわれわれはコミットしている。そのためにわれわれはより広範に採択されることを期待する『気候変動リーダーシップ原則』と『再生可能エネルギーにおける貿易のための枠組み』に合意した。」

「**繁栄**に関しては、APEC は信頼され、有意義な存在である世界貿易機関（WTO：World Trade Organization）を支持し、最終的なアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia-Pacific）に向けた構成要素を積み上げ、能力構築やよりアクセスしやすいインフラを通じてデジタル経済への影響力を高め、デジタル貿易が域内全体でシームレスに展開されることを確実にすることで、過去に APEC が効果的に行ってきたように、ここで真のリーダーシップを発揮することができる。」

タウレイ氏は緊急の行動が必要であるとコメントした。

「今こそ行動の時である。歴史は、危機がしばしば新しい創造性と新しい勢いを生み出すことを示している。首脳に対する重要な教訓は、これらの分野すべてで結果を見始める必要があるということである。」

「これは APEC 首脳が昨年 11 月に合意したプトラジャヤ・ビジョン 2040 の実行プロセス開始に役立つ。しかしながら、さらに重要なことは、将来に対する楽観的な感覚をもって 2022 年に目を向けることができることである」とタウレイ氏は結んだ。

以上